3・10・1 新黒井・下保倉間 13.8km 運輸開始，その後浦川原まで 1.2 km延長し同 5・5・5 全通した。

3　沿線の観光地

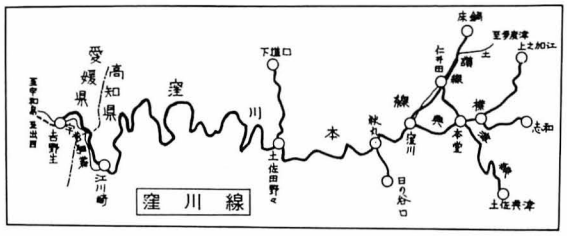
春日山城趾，春日山神社(新黒井駅から 10km)。

4　運輸概況

項目＼年度	昭和 28	29	30
旅客輸送人員(千人)	474	463	467
人キロ(千)	3,457	3,376	3,319
貨物輸送トン数(千t)	94	11	15
トンキロ(千円)	122	137	202
旅客収入(〃)	13,095	15,015	14,472
貨物収入(〃)	2,720	3,262	4,163
運輸雑収(〃)	257	413	264
収入合計(〃)	16,072	18,689	18,899
営業費(〃)	17,257	21,232	20,185
営業利益(〃)	△ 1,185	△ 2,543	△ 1,286
営業係数(%)	106	114	105

(志村幹雄)

くぼかわせん　窪川線　高知県高岡郡仁井田村(床鍋)・愛媛県北宇和郡吉野生村(吉野生)等を結ぶ国鉄自動車路線であって，所管する自動車営業所は高知県高岡郡窪川町に，同支所は同県幡多郡大正町(土佐田野々)にある。



1　区間およびキロ程

窪川本線	床鍋・吉野生	93km
	秋丸・日の谷口	5
	土佐田野々・下道口	13
興津線	仁井田・土佐興津	19
	窪川・志和	21
	襟・上之加江	11

2　沿革

窪川本線	床鍋・吉野生	昭 20・4・29 開業
	土佐田野々・大奈路	昭 24・1・30
	大奈路・下道口	昭 27・1・27
	秋丸・日の谷口	昭 31・6・21
興津線	仁井田・土佐興津	昭 25・5・10
	窪川・本堂	〃
	本堂・志和	昭 27・10・25
	襟・上之加江	昭 28・8・20

3　営業範囲

旅客・手小荷物・貨物および団体貸切の取扱をしている。

4　使命

土讃線と宇和島線を結ぶ鉄道先行ならびに代行路線として，沿線地方の産業開発文化の発展助長の使命をも有する。

5　特長

床鍋・吉野生間 93km の内 70km は四万十川の上流にそって西行する。沿線の新緑はよく，秋ともなれば四囲の山々は移りゆく紅葉が極彩色の日本画を見るようである。また四万十川はあゆの名産地として知られ遠く京阪神・東京方面へも出荷されている。

興津は太平洋に面した良港で沿岸航路の寄港地であり漁業基地である。興津岬に抱かれて風光をもって鳴る小室の浜は白砂青松 8 kmにわたり，海水浴に保健行楽に好適である。(可野虎男)

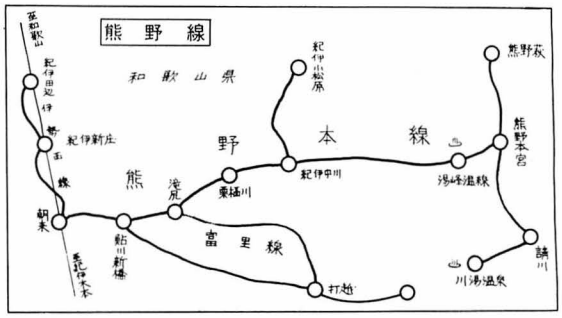
クーポン　(英) coupon　語義は切取切符・連絡乗車券等であるが，わが国においては大正 14 年鉄道省が制定しジャパン・ツーリスト・ビューローに発売委託した遊覧券（遊覧旅客に運賃割引を行い，旅館宿泊券・バス券等を加えた冊子式乗車券)が初めて「クーポン券」の名称で一般に宣伝され，旅客にも親しまれた名称となった。

戦後は生活必需品配給切符が一般にクーポンと呼ばれた関係から，各種切取式証券類をクーポンと呼ぶに至ったが，交通関係では昭和 30・2 に国鉄が制定した周遊割引乗車券や，日本交通公社が発売する旅館券・船車券・観光券，あるいは一民営鉄道が発売する宿泊券付季節割引乗車券等が一般にクーポン券と呼ばれている。

またこれらのものの様式から派生して，一般の乗車券類について，＊エドモンソン式(小型の厚紙)のものに対比して，大型で薄葉の乗車券類をクーポン券と呼ぶ場合もある。(平林喜三造)

クーポンきょうていりょかん　クーポン協定旅館　日本交通公社で旅行上の不安をなくし，安心して旅行し宿泊できるよう，旅館券を案内所の窓口で発売するため，協定してある旅館。昭和 32・7 において全国で 4,425 軒におよんでいる。(橋本外喜久)

くまのせん　熊野線　和歌山県田辺市と奥熊野方面とを結ぶ国鉄自動車路線であって，所管する自動車営業所は田辺市（紀伊田辺)にある。



1　区間およびキロ程

熊野本線	紀伊田辺・請川	73km
	鮎川新橋・打越	17
	紀伊中川・紀伊小松原	8
	熊野本宮・熊野萩	5
	請川・川湯温泉	3
富里線	滝尻・苔口	19

2　沿革

熊野本線	紀伊田辺・請川	昭 22・6・21 開業
	熊野本宮・熊野萩	昭 25・5・10
	請川・川湯温泉	昭 26・10・1
	紀伊中川・紀伊小松原	昭 28・2・11
	鮎川新橋・打越	昭 30・3・15
富里線	滝尻・打越	昭 26・10・1
	打越・苔口	昭 31・12・25

3　営業範囲

旅客・手小荷物・貨物および団体貸切の取扱をしている。

4　使命